

# CIRJE Newsletter

東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センターニュースレター

No.27

2019年4月

Center for  
International Research on the  
Japanese Economy (CIRJE)  
Graduate School of Economics,  
Faculty of Economics  
The University of Tokyo

## センター長ご挨拶

2019年度からも、下津克己教授が引き続き当センター長を務めることとなりました。就任にあたり、改めて皆様へご挨拶を申し上げます。



センター長 下津克己

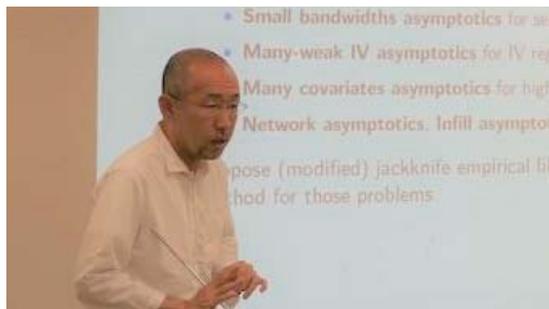
日本経済国際共同研究センター (CIRJE) は、日本経済やその関連分野の国際的な共同研究を推進する場を提供するために、1998年に設立されました。CIRJEは、東京大学大学院経済学研究科に附属し、専任スタッフに加えて同研究科のスタッフが多数研究活動に参画しています。

CIRJEでは、ミクロ経済学ワークショップ、マクロ経済学ワークショップなどさまざまなワークショップを定期的に主催しており、そこでは常時最新の研究が報告され、議論されています。国際共同研究センターの名前にふさわしく、昨年度は海外からのべ112名の報告者が来日し、論文発表を行いました。また、国内外から38名の研究者が客員教授、海外客員や短期客員研究者として、CIRJEを訪問・滞在し、共同研究を行いました。得られた研究成果は、ディスカッションペーパーとして随時ホームページに公開しております。また、数多くの研究プロジェクトが並行して行われています。

また、国際的な学術会議も主催し、海外の大学や研究機関と数多くの学術交流を行っています。2018年度は、以下の3つを含む7つの国際コンファレンスを主催・共催しました。

第1は、ソウル国立大学の経済研究所 (Institute of Economic Research) との共催コンファレンスで、2018年12月に開催されました。詳細は別ページの会議開催報告をご覧ください。第2は、「Workshop on Advances in Econometrics 2018」と題するコンファレンスで、2018年6月に道後で開催されました。日本・海外の大学に所属し第一線で活躍している11人の日本人・外国人の計量経済学者が最新の研究成果を発表した本コンファレンスは、世界の日本人・外国人計量経済学者が一同に会する機会となり、活発な討論や情

報交換が行われました。



Workshop on Advances in Econometrics 2018

第3は、「Special TWID on Evidence-based Policy Making」と題するコンファレンスで、2018年6月に本学小島コンファレンスルームで行われました。スタンフォード大学のPascaline Dupas教授を招き、発展途上国における教育と保健医療の実証研究を中心とした研究発表が行われました。



Special TWID on Evidence-based Policy Making

CIRJEは本年度以降も、これまで以上に、積極的に国際比較研究の視点を打ち出し、内外の研究者に共同研究の場を提供し、情報を発信していきたいと考えています。今後の発展に向けて、関係各位から一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

CIRJE Newsletter

目次

センター長ご挨拶

客員准教授・  
短期客員研究者紹介

研究会開催報告

ワークショップ  
活動報告  
都市経済学ワークショップ

CIRJE  
ディスカッション  
ペーパーシリーズ

客員スタッフ

スタッフ

## 客員准教授・短期客員研究者紹介

当センターには、研究者を受け入れるための複数のポジションがあります。「短期客員研究者」へは、公益財団法人野村財団からのご寄付により、多彩な研究者の皆様をお招きしています。また「客員准教授」として、国内各地から研究者の皆様にご来訪頂いております。今回は、2018年度にお越し頂いた短期客員研究者・客員教授の皆様に、滞在時の活動内容をお聞きしました。

### 客員准教授

京都大学経済研究所  
高橋修平  
(2018.7.1 - 2019.3.31)



CIRJEには2018年7月から2019年3月まで客員准教授として所属させて頂きました。受入教員である中嶋智之先生を始めとする先生方、スタッフの方々のお蔭をもちまして、大変有意義な滞在になりました。厚く御礼を申し上げます。

CIRJE滞在中には主に二つのプロジェクトを進めました。一つ目のプロジェクトは中嶋智之先生との共同研究で、消費税と所得移転がマクロ経済に与える影響を分析したものです。動学一般均衡モデルを用いて、消費税率の引き上げと所得移転の増加を組み合わせる政策が資本蓄積や格差に与える影響を定量的に評価しました。ちょうど論文が査読誌から改訂後再投稿の要求を受けており、CIRJEの滞在中を利用して集中的に改訂作業を進めることができました。二つ目のプロジェクトは名目賃金の硬直性に関する研究で、賃金改定の頻度が異なる均衡が複数存在するのかが分析したものです。こちらのプロジェクトは比較的最近始めた研究だったのですが、CIRJEのマクロ経済学ワークショップで報告をさせて頂き、参加者の方々から多くの貴重なコメントを頂戴することができました。これらのプロジェクトを進める以外にも、東京大学の素晴らしい研究者の方々との交流を通じて多くのことを学ばせて頂きました。今後の研究にぜひ生かして参りたいと思います。

### 短期客員研究者

Department of Economics, Wesleyan University  
今井雅巳  
(2018.7.1 - 2018.7.31)



2018年7月にCIRJEにて研究活動を行う機会を頂きました。CIRJEでは主に二つの研究活動を行いました。一つ目の研究プロジェクトのタイトルは“The Effects of Lender of Last Resort on Financial Intermediation during the Great Depression in Japan”です(東京大学の岡崎哲二先生と日本大学の澤田充先生との共著)。過去のアメリカの金融史研究では中央銀行の政策は金融危機を防ぐ重要な役割を果たしているという結果が出ています。これらの先行研究に関連して、私たちは昭和恐慌時の銀行データを使い、日本銀行の現金貸出しと銀行の金融仲介機能の因果関係を実証する研究しました。二つ目は“Government Financial Institutions and Capital Allocation Efficiency in Japan”で、この研究では産業レベルの投資データを使って政府系金融機関の介入は資本配分の効率性とTotal Factor Productivity (TFP)にどのような影響を及ぼすか調べました。CIRJEでは東京大学の先生方や他の研究員の方々とお話をする機会を頂き、この二つの研究だけでなく将来の研究課題を考える上でも有意義な時間を過ごすことが出来ました。岡崎先生と他の先生方やスタッフの皆様にお礼申し上げます。

新潟大学経済学部  
中田 豪  
(2018.10.1 - 2018.12.29)

CIRJEでは大変有意義で素晴らしい機会を与えて頂きました。滞在中は、東京大学のみならず海外から訪問された研究者とも交流する機会に恵まれました。同じ時期に客員をされていた米国有名大学の新進気鋭の経済学者とは、研究において非常に有益な議論をさせて頂いたことが、大いに刺激を受けました。国内外問わず優秀な研究者がワークショップの発表者や客員として訪れ、交流できる点がCIRJEにおける最大の魅力ではないでしょうか。さらに、東京大学大学院経済学研究科の大学院生向けに講義をさせて頂くという貴重な経験もさせて頂きました。

私は、以前から通貨危機や銀行の預金取り付けといった金融危機の研究をしてきました。その中で、危機が起こる前には多くのケースでバブルが発生していること、経済状態や政治の不確実性が危機に影響を及ぼすこと、投資家間の思い込みや噂の流布、群衆行動といった側面が重要であることが分かってきました。この滞在中を通して、バブルや不確実性、社会的学習といった関連する分野の知見を得ることができました。また、研究課題も議論を通じて見出すことができました。この滞在中が研究を進めるうえで非常に有益であったことを考えると感謝に堪えません。

お世話になった東京大学の先生方、快適な環境を提供していただいたCIRJEのスタッフの皆様、このたびの研究資金を提供していただいた公益財団法人野村財団にはこの紙面をお借りしてお礼申し上げます。

## 研究会開催報告

当センターでは、様々な研究会や国際コンファレンスが開催されております。今号ではその中から、2018年12月に開催された会議について、主催教員よりご報告申し上げます。

### The 14th Joint Conference of Seoul National University and The University of Tokyo

日時：2018年12月7日

場所：大学院経済学研究科学術交流棟（小島ホール）



福田慎一

CIRJE は、ソウル国立大学の経済研究所（Institute of Economic Research）と毎年、経済政策に関するコンファレンスを開催しており、本年が14回目となります。この交流会議では、これまでも幅広いテーマで国際会議を開催してきました。本年は、マクロ経済学の諸問題（Current Topics of Macroeconomics）をテーマに、不確実性が高まる世界経済において適切な制度設計やポリシーのあり方を中心に議論を行いました。東京大学からは、楡井誠、植田健一、青木浩介、渡辺努が報告者および討論者として、また福田慎一、宮尾龍蔵、北尾早霧が座長として参加しました。また、ソウル国立大学からは、Young Sik Kim、Jay H. Hong、Soyoung Kim、Woong Yong Park の4名が報告・討論を行いました。

今日、世界各国でさまざまな構造的問題が存在するなか、今後は少子高齢化の進行が経済成長の足かせとなるのではないかと懸念する論者が増えています。特に、日本と韓国では、少子高齢化のスピードが主要国のなかでも突出しています。このため、将来を見据えて、今後見込まれる少子高齢化に対する抜本的な対策をとることが日韓両国で強く求められているといえます。各国の経済が抱える構造的な問題を、短期的な観点ではなく、中長期的な観点から議論することは重要な政策課題です。本会議では、そのような観点から、マクロ経済の政策課題に関して活発な討論が展開され、貴重な学術交流が実現したといえます。今後も、CIRJE とソウル国立大学の経済研究所は、さらなる連携を深めていくことが確認され、会議は成功裏に終了しました。



報告の様様

## ワークショップ活動報告

当センターには、経済学研究科教員により運営される13のワークショップが登録されております。今回はその中から、「都市経済学ワークショップ」の活動を、代表者の教員よりご報告申し上げます。

### 都市経済学ワークショップ



田淵隆俊

本ワークショップは、都市経済学を中心に、空間経済学、国際貿易、交通経済学などに関心を寄せる本学の教員、大学院生、および国内外の研究者によって構成されています。本学の教員には、経済学研究科のみならず、空間情報科学研究センターや社会科学研究所の研究者も常時参加しています。

毎月一回開催し、主として外部の研究者二人に各90分の研究報告をしてもらい、多角的な議論を展開しています。ワークショップに参加するのは約20名ですが、そのうち9割が終了後の懇親会に参加し、白熱した議論を続けています。

ワークショップにおける主要なトピックは、空間における外部性が都市の住宅市場や交通市場に与える影響です。たとえば、異質な家計の混在居住、都市内交通の混雑、産業集積による企業間取引や知識伝播などに焦点が当てられています。また、技術進歩によってもたらされる地域間の取引費用や情報通信費用の減少、財やサービスの生産費用の減少、都市内通勤費用の減少などが都市・地域経済に及ぼす影響も重要なトピックとなっています。

事実解明的な計量経済分析だけでなく、規範的な経済理論分析も同様に行っています。都市におけるさまざまな市場経済メカニズムを解明することによって、社会的に望ましい経済政策を導く分析を行っています。たとえば、地域間格差と経済成長のトレードオフ、経済活動の大都市集積の是非などについても多様な観点からの議論を重ねています。

# CIRJE ディスカッションペーパーシリーズ

[http://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/research/03research02dp\\_j.html](http://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/research/03research02dp_j.html)

当センターでは2つのディスカッションペーパーシリーズ（Jシリーズ：日本語、Fシリーズ：外国語）を刊行しており、2018年4月から2019年3月は、Jシリーズ3件、Fシリーズ29件が刊行されました。発行されたディスカッションペーパーは上記のホームページからダウンロードすることも可能です。

## 客員スタッフ

当センターの重要な役割の一つに、海外からの研究者の受け入れと研究交流促進があります。国内外の優秀な研究者を様々な分野からお迎えして研究活動を行っております。下記のリストは2018年前期に来訪された客員スタッフの一部です（所属は在籍当時）。

### 客員教授

■ Dov Eliahu Samet (2018.10.9 - 12.11)  
Faculty of Management, Tel Aviv University, Israel

### 客員准教授

■ 陣内 了 (2018.4.1 - 6.30)  
一橋大学経済研究所, 日本

■ 高橋修平 (2018.7.1 - 2019.3.31)  
京都大学経済研究所, 日本

### 短期客員研究者

■ Patrick Fridenson (2018.5.2 - 5.29)  
Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales, France

■ Jeng-Guo S. Chen (2018.6.1 - 6.6)  
Academia Sinica, Taiwan

■ Levent Alitinoglu (2018.6.4 - 6.8) \* 野村財団・奨学研究員 \*  
Federal Reserve Board, USA

■ Mira Frick (2018.7.2 - 7.24, 2018.12.10 - 2019.1.10)  
Department of Economics, Yale University, USA

■ Ryota Iijima (2018.7.2 - 7.24, 2018.12.10 - 2019.1.10)  
Department of Economics, Yale University, USA

■ Sanjay Chaudhuri (2018.9.24 - 9.29)  
Department of Statistics and Applied Probability, National University of Singapore, Singapore

■ Inger Leemans (2018.10.10 - 10.23) \* 野村財団・奨学研究員 \*  
Department of Art and Culture, VU University Amsterdam, Netherlands

■ Giacomo Rondina (2019.1.28 - 2.2) \* 野村財団・奨学研究員 \*  
Department of Economics, University of California, San Diego, USA

■ Sugata Marjit (2019.3.4 - 3.8) \* 野村財団・奨学研究員 \*  
Centre for Studies in Social Sciences, Calcutta, India

■ 大西健 (2019.3.19 - 3.24) \* 野村財団・客員研究員 \*  
Federal Reserve Board, USA

## スタッフ

### 教授

下津克己  
(センター長)



青木浩介



佐藤泰裕



高崎善人



田淵隆俊



福田慎一

### 顧問

翁 邦雄 (法政大学大学院政策創造研究科客員教授)

加藤淳子 (東京大学法学部・大学院法学政治学研究科教授)

清滝信宏 (プリンストン大学経済学部教授)

高田 創 (みずほ総合研究所株式会社副理事長  
エグゼクティブエコノミスト)

西村和雄 (神戸大学経済経営研究所特命教授)

### 運営委員会

#### 運営委員長

下津克己 (センター長)

#### 運営委員

青木浩介・澤田康幸・高橋信夫・谷本雅之・福田慎一

## CIRJE Newsletter No.27

2019年4月

東京大学大学院経済学研究科附属

日本経済国際共同研究センター

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

tel +81-3-5841-5644 fax +81-3-5841-8294

<http://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/indexj.html>